

Dexerials

— 10th Anniversary —

デクセリアルズ株式会社

個人投資家向け会社説明会

2022年12月

東証プライム 4980

株価とEBITDA*の推移

2022年12月13日時点

中期経営計画2018
「変革と成長」

中期経営計画2023
「進化への挑戦」

当社株価 (円)

19年3月末
734円

22年12月13日
3,050円

今中計期間の
株価リターン*

(19年3月末～22年12月13日)

株主
総利回り
(配当込) **+338%**

EBITDA (億円)

131

85

116

97

108

176

325

419

FY15
実績

FY16
実績

FY17
実績

FY18
実績

FY19
実績

FY20
実績

FY21
実績

FY22
見通し

*算出時の値は22年12月13日株価を使用

本日の内容

1

どんな会社？

2

中期経営計画の進捗

本日の内容

1

どんな会社？

2

中期経営計画の進捗

どんな会社？ ①

売上高	957.1億円 (2021年度 実績)
資本金	161.7億円 (連結、2022年3月末)
本店所在地	栃木県下野市
従業員数	1,915人 (連結、2022年3月末)
証券コード	4980 東証プライム市場 (2022年4月選択)
単元株数	100株
直近株価	3,050円 (2022年12月13日終値)
時価総額	1,968億円 発行済株式数/ 2022年9月末 64,539,000株

経営理念

Integrity

誠心誠意・真摯であれ

企業ビジョン

Value Matters

今までなかったものを。
世界の価値になるものを。

社名の由来

デクセリアルズ Dexerials

デクステラス

Dexterous

(巧みな、機敏な)

マテリアルズ

Materials

(材料・素材)

いろんな「材料」を「巧みに、機敏に」組み合わせ、常に新しい価値を創造していく企業です

どんな会社？ ②

ソニーケミカルを前身として60年以上にわたり、世界に新たな価値を提供

デクセリアルズは創業10周年を迎えました

当社は、社名変更および事業開始から10周年を迎えました

日ごろのご厚誼に改めて御礼を申し上げます

引き続き、テクノロジーの進化を支える製品やソリューションを提供し、持続的な成長を目指してまいります

今後とも皆さまの変わらぬご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます



本社・栃木事業所 レセプション棟 外観イメージ

どんな会社？ ③

主力製品は
ニッチな領域で
世界シェア
No.1



異方性導電膜 (ACF)



反射防止フィルム



光学弾性樹脂 (SVR)

FY21
主力3製品
売上高比率
約**56%**

主に**コンシューマーIT製品向けに国内外**で事業を展開

当社の技術が生み出す製品は、テレビやパソコン、スマートフォンやタブレット、自動車など多岐にわたり、暮らしや産業を支えています



※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2021年の金額シェア。

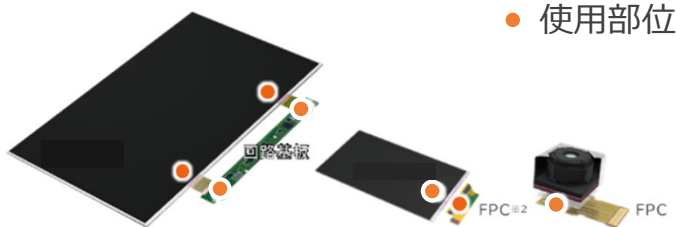
※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2021年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学用透明接着剤（OCR）の2021年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学用透明接着剤の当社製品名です。

製品例：異方性導電膜（ACF）



ディスプレイやセンサーなどで使われる電子材料
ICやモジュールと、基板の導電接続をするフィルム



● 使用部位

大型FPD※1 中・小型FPD カメラモジュール

※1 フラットパネルディスプレイ

※2 フレキシブル基板

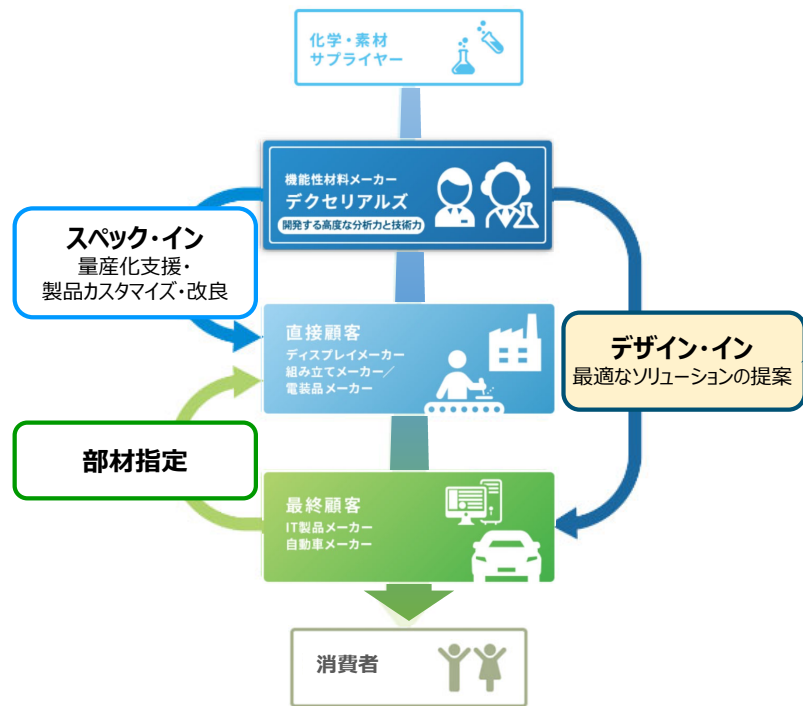


画像を映し出すためにはACFが欠かせません



身近な製品に欠かせない電子材料・光学材料を開発・提供しています

ビジネスモデル



強み①
営業担当者だけでなくエンジニアも同行。顧客のニーズを聞いて、顧客がまだ気がつかない技術課題を抽出して、それを解決する製品を開発

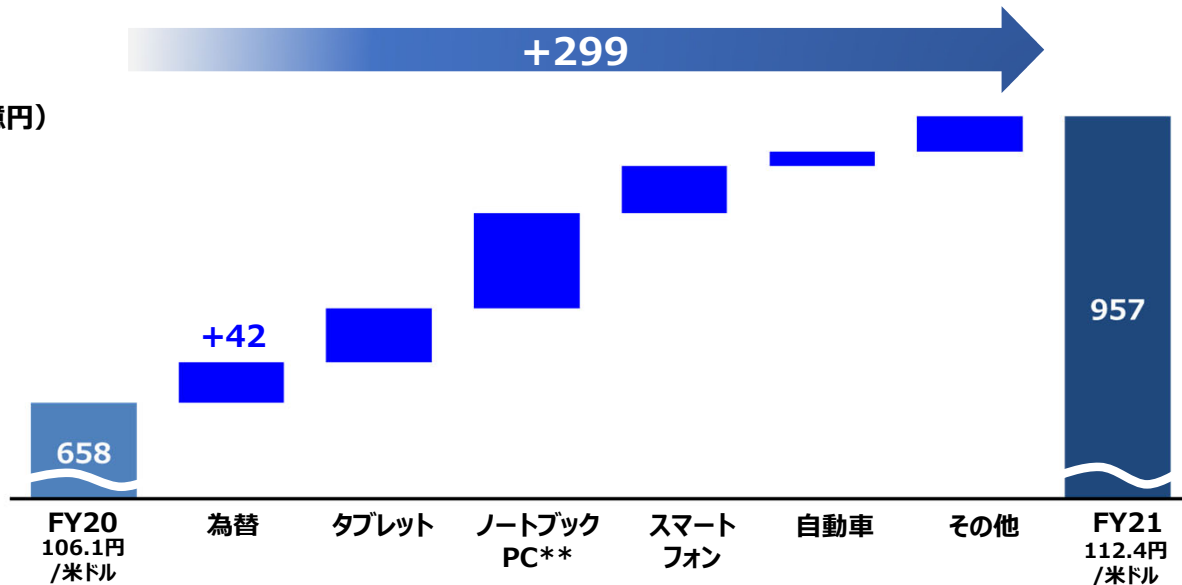
強み②
将来の社会課題を解決する最終製品の進化、それに伴う技術革新のトレンドを予測して、当社が優位性を発揮できる製品を開発

変化する世の中のニーズを独自の技術で先取りした高付加価値製品を生み出しています

市場動向に左右されにくい体質へ進化

技術革新のトレンドを先回りして開発した製品が
新部位・新たな顧客・新アプリケーションで採用

(単位：億円)



市場動向

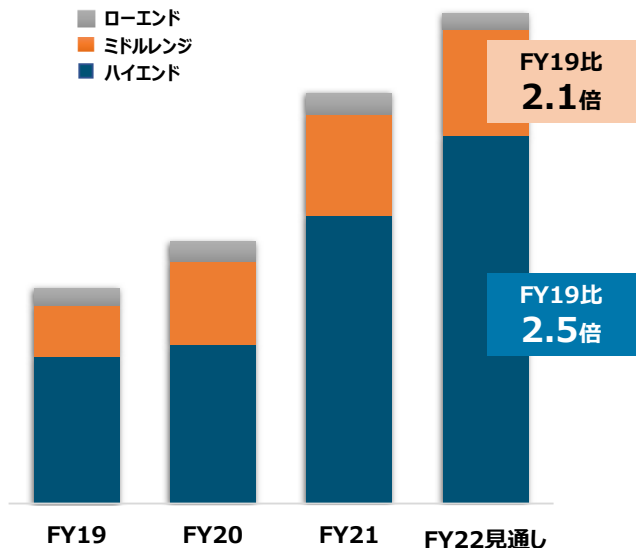
前期比増減イメージ




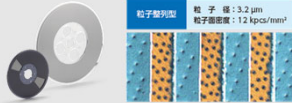
* 一部推定を含みます **デスクトップモニターを含む

差異化技術製品の裾野の広がり

ハイエンド向け技術がミドルレンジにも浸透し、稼ぐ力がさらに向上

◆スマートフォンおよびノートブックPC向け売上高*



用途	最終製品	当社の動向
 ノートPC	ハイエンド ↓	<ul style="list-style-type: none"> 数量増とともに反射防止フィルムが増加 FY21から蛍光体フィルムの新規採用で売上成長が加速
	ミドルレンジ	反射防止フィルム搭載モデルへの 切替進む 
 スマートフォン	ハイエンド ↓	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイ向けACFで粒子整列型ACFがデファクト化 非ディスプレイ向けで精密接合用樹脂の新部位採用、新製品の大径粒子整列型ACF・形状加工ACFが貢献
	ミドルレンジ	粒子整列型ACFの 採用拡大 

* 当社定義による

本日の内容

1

どんな会社？

2

中期経営計画の進捗

長期視点で持続的な成長を目指す

＜進化のプロセス＞
前倒し

FY19-23「進化への挑戦」

社会課題の解決を通じて
持続的に成長

基本方針

① 新規領域での事業成長加速

② 既存領域における事業の質的転換

③ 経営基盤の強化

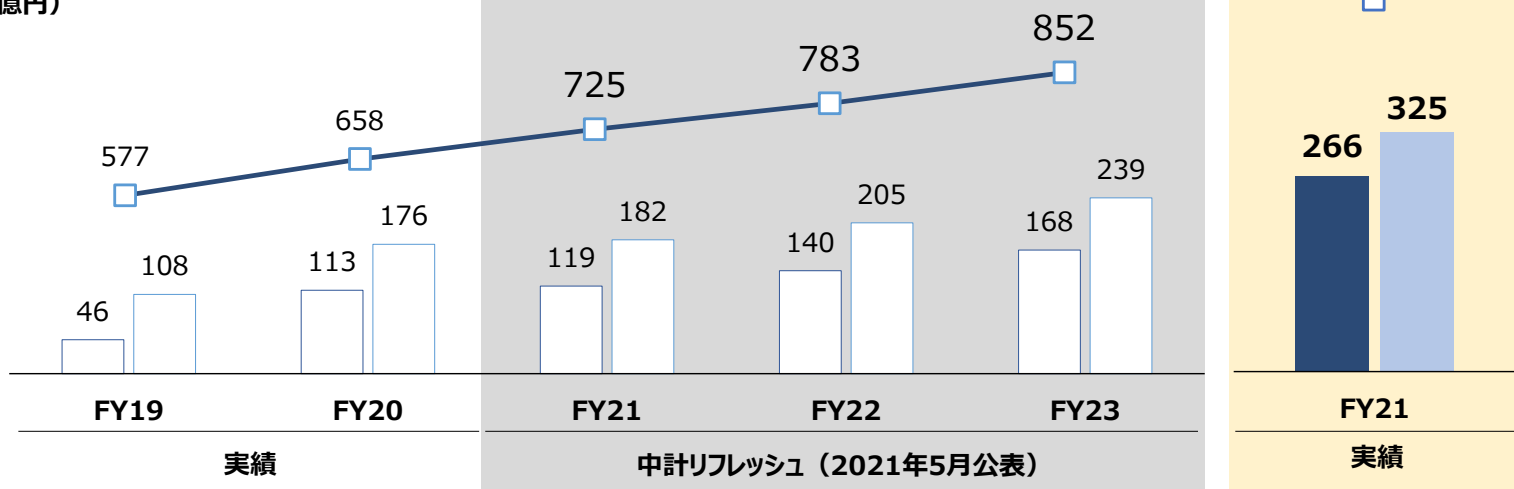
位置づけ

成長戦略と企業変革の実現で
持続的成長と企業価値向上の礎を築く

本中計での成長実現

次の成長に向けた準備

- 売上高 (億円)
- 営業利益 (億円)
- EBITDA (億円)



FY22.1H 連結業績サマリー

2022年10月31日公表

(単位：百万円)	FY21.1H	FY22.1H	前年同期比 増減	
				為替変動の影響除く
売上高	44,562	58,197	+30.6%	+13.2%
営業利益	12,296	19,678	+60.0%	+3.1%
経常利益	11,478	18,549	+61.6%	
当期純利益*	7,700	12,468	+61.9%	
EBITDA**	15,336	22,960	+49.7%	+4.0%
EBITDAマージン	34.4%	39.5%	+5.0%Pt	-2.8%Pt

* 親会社株主に帰属する当期純利益に読み替え

** EBITDA=営業利益+営業費用として計上される減価償却費+のれん償却額

(注) ㈱京都セミコンダクターの業績はFY22から連結しております

FY22 連結業績見通し：上方修正

2022年10月31日公表

(単位：百万円)	FY21 112.4円/米ドル	FY22見通し		
		7月見通し 120.9円/米ドル	上期実績：134.0円/米ドル 下期前提：145.0円/米ドル 年間前提：139.5円/米ドル	前期比増減
売上高	95,712	110,000	110,000	+14.9%
営業利益	26,642	31,000	35,000	+31.4%
経常利益	25,023	29,600	32,300	+29.1%
当期純利益	16,669	20,000	22,000	+32.0%
1株当たり当期純利益	274.61円	329.48円	362.43円	+32.0%
1株当たり配当額	60.0円	65.0円	65.0円	-
自己株式取得総額	3,999	6,000	9,000	-
総還元性向(のれん償却前)	42.3%	44.7%	53.2%	-
EBITDA	32,478	38,000	41,900	+29.0%
ROIC	22.5%	21.0%	24.6%	+2.1%Pt
ROE	28.5%	29.1%	30.9%	+2.3%Pt
(参考)のれん償却前	31.5%	32.8%	34.4%	+2.9%Pt

(注) 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益に読み替え
 EBITDA=営業利益+営業費用として計上される減価償却費+のれん償却額
 ROIC=(営業利益×(1-実効税率))÷(自己資本+有利子負債)×100
 ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本×100
 総還元性向(のれん償却前)=(配当支払総額+自社株買い総額)÷(当期純利益+のれん償却額)×100
 東京都セミコンダクターの業績はFY22から連結しております

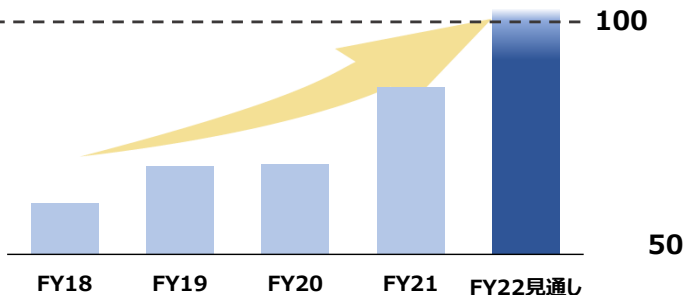
新規領域での事業成長加速

◆自動車領域

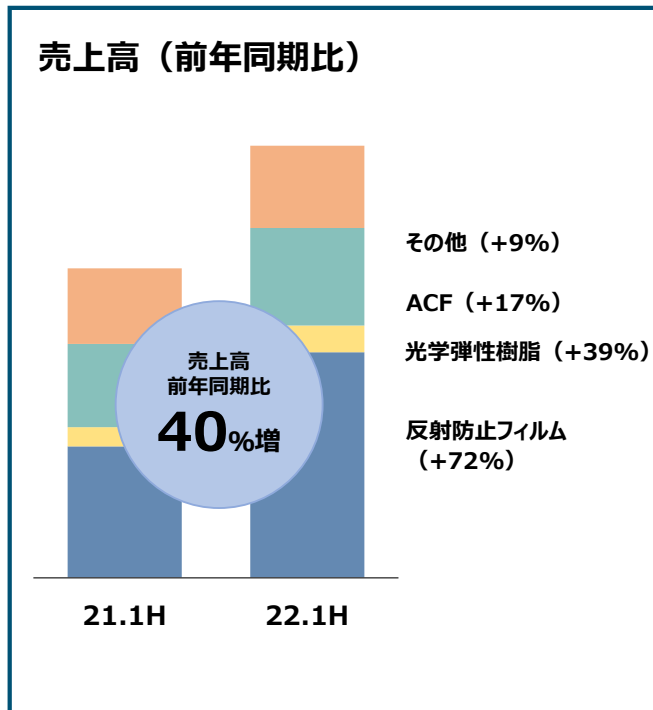
車載ディスプレイの大画面化
台当たりディスプレイ搭載数の増加



年間売上高推移
(億円)



売上高 (前年同期比)



成長確度の高い事業で積極的な投資を実施

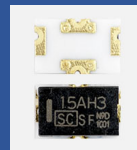
反射防止フィルム



最新鋭の製造設備を導入
車載ディスプレイ向けの需要拡大に対応

- FY23 上期 稼働開始予定
- 生産拠点 本社・栃木事業所
- 投資時期 FY21～FY22
- 投資額 約80億円
- 生産能力 現在の約1.5倍

表面実装型ヒューズ



2ライン増設
リチウムイオン電池搭載アプリケーションの需要拡大に対応

それぞれ前倒して稼働開始

1ライン：2022年3月 稼働開始
2ライン：2022年9月 稼働開始

- 生産拠点 本社・栃木事業所
- 投資時期 FY21～FY22
- 投資額 約13億円
- 生産能力 現在の約2倍



新規領域での事業成長加速

◆(株)京都セミコンダクター

自動車の次の成長領域として光半導体を特定、22年3月に子会社化

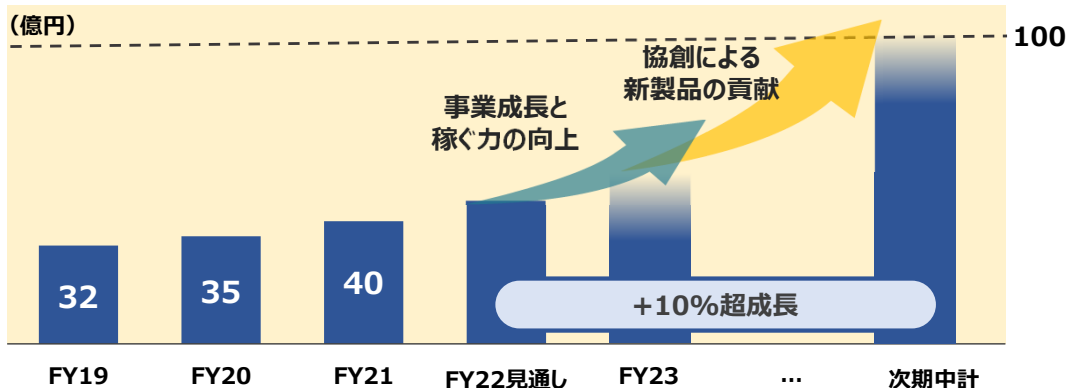
光半導体デバイス事業：

5G, Beyond 5Gの通信インフラおよびIoT機器に欠かせないデバイスの
開発・製造・販売

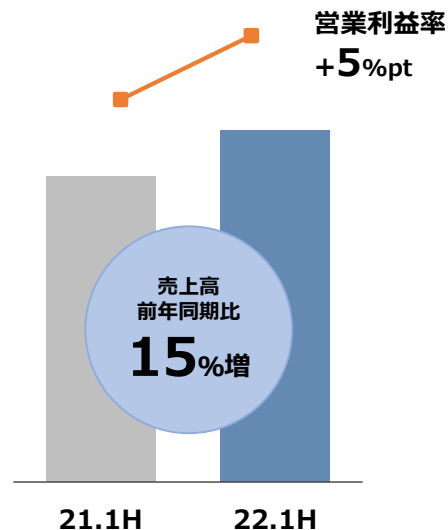
光センシング用デバイス 《用途》FA、金銭機器、医療機器・ヘルスケア、分析・計測機器、IoT など

光通信用デバイス 《用途》光通信、モバイル通信ネットワーク基地局向け、データセンター向け など

◆成長イメージ



売上高と営業利益率（前年同期比）



*京都セミコンダクターの業績は昨年度のPLには含まれておりませんが、投資家の皆さまの利便性のために参考情報としてお示ししております

FY22 株主還元

自己株式取得枠を30億円増額し、順調に取得中

◆ 自己株式の取得

増額

合計 60億円 → 90億円 (上限)

① 成長投資充当

✓ 取得総額上限：50億円 → 80億円

② 株式給付信託 (BBT) 追加拠出

✓ 取得総額上限：10億円 (取得済)

➤ 取得状況

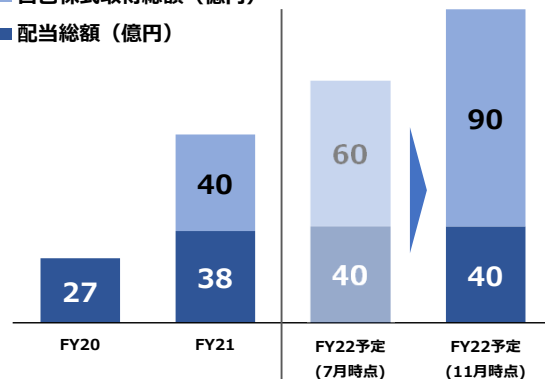
✓ 11/30時点で約190万株、約70億円取得
うち11月で約90万株、約30億円取得

◆ 現金配当

変更なし

期末配当に創業10周年記念配当5円を加えた
1株当たり年間65円を予定

■ 自己株式取得総額 (億円)
■ 配当総額 (億円)



年間配当金	44円	60円	65円	65円
総還元性向	42.2%	42.3%	44.7%	53.2%

株主還元方針*の変更なし

*株主還元方針：総還元性向でのれん償却前の親会社株主に帰属する連結当期純利益の40%を目的に利益還元

外部評価の向上と露出の拡大

◆ 外部評価

「JPX日経インデックス400」構成銘柄に選定

2022年 8月
構成銘柄に選定



株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同で算出するインデックス

「SOMPOサステナビリティ・インデックス」

2022年 6月
構成銘柄に4年連続で選定



SOMPOアセットマネジメント株式会社が
独自に設定するアクティブ・インデックス

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」

2022年 4月
構成銘柄に選定



英国FTSE Russell 社が提供するグローバル基準を満たす日本企業を対象としたESG投資株価指数

「MSCI*日本株女性活躍指数 (WIN)」
「MSCI*ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」

2022年 6月
構成銘柄に選定

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

◆ メディアへの露出

- ✓ 2022年11月26日 (土) 18時放送のテレビ東京系列「知られざるガリバー～エクセレントカンパニーファイル～」にて当社が紹介されました



*デクセリアルズがMSCIインデックスに採用されていること、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるデクセリアルズへの後援、保証、販促には該当しません。
MSCIインデックスはMSCIに独占権があり、MSCI、MSCIインデックス名及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

もっとよく知る デクセリアルズ①

トップ
ページ



投資家
情報

「個人投資家のみなさまへ」
随時更新中

CSR | 投資家情報 | 採用情報 | 研究開発 | ニュースリリース | お問い合わせ

投資家情報

デクセリアルズ ホームページ

<https://www.dexerials.jp/>

製品紹介やサステナビリティの取り組みなど
当社ホームページでご紹介しております



もっとよく知る デクセリアルズ②

統合
報告書

統合報告書を発行



デクセリアルズ統合レポート 2022

<https://www.dexerials.jp/csr/download/>

TECH
TIMES

当社の技術や製品をわかりやすくご紹介



TECH TIMES

<https://techtimes.dexerials.jp/>



持続可能な成長を続ける企業へ



社会課題解決のためのデジタルテクノロジーの進化に不可欠な
製品や技術、ソリューションを通して社会に貢献
持続的に成長する企業を目指す

注意事項

本資料に言及されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

また、本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものでもありません。

Value Matters

今までなかったものを。世界の価値になるものを。

